

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学  
連合小児発達学研究所教授会記録

日時	令和元年12月5日(木)午後4時00分～午後4時48分
場所	各校講義室にて遠隔講義システムにより開催
出席者	(大阪校) 谷池研究科長、佐藤副研究科長、片山研究科長補佐、池田教授、大藪教授、 金澤教授、酒井教授 (金沢校) 横山副研究科長、菊知教授、小林教授、堀教授 (浜松校) 土屋副研究科長、尾内教授、武井教授 (千葉校) 平野副研究科長、清水教授 (福井校) 松崎副研究科長、安倍教授
	計18名
欠席者	(大阪校) 橋本教授 (金沢校) 柴教授、 (浜松校) 高貝教授、山末教授 (千葉校) 中川教授 (福井校) 大嶋教授、小坂教授、友田教授
	計8名 [合計26名]

議 事

◇ 議事に先立ち、研究科長から、11月7日(木)開催の教授会記録の確認があった。

【報告事項】

1. 副研究科長等会議報告について  
研究科長から、配布資料に基づき、報告があった。
2. 第3期中期目標期間における4年目終了時評価に係る「学部・研究科等の現況調査表等」(第一次案)の修正について  
研究科長から、提出済みの「学部・研究科等の現況調査表等」(第一次案)について修正依頼があり、配布資料のとおり修正案を提出した旨報告があった。
3. ハラスメント防止研修会について  
研究科長から、配付資料に基づき報告があり、教職員の積極的な参加について呼び掛けがあった。  
また、同日にハラスメント防止対策委員会を開催する予定である旨併せて報告があった。
4. 子どものこころの研究センター令和元年度研究連絡会について  
研究科長から、配布資料に基づき報告があった。  
また、研究科長から、発表は、英語でお願いしたいこと、研究連絡会について今年度は共同利用・共同研究拠点に係る事業の1つと位置付けることから、共同研究に関する内容を含めていただきたいこと、及び本年中に発表者を決定いただきたいことの依頼があった。

【協議事項】

1. 学位記授与式における研究科代表の選出について  
佐藤教授から、配布資料に基づき、学位記授与式における研究科代表の選出方法に係る申合せ案について説明があり、協議の結果、承認された。
2. トランスクリプトについて  
佐藤教授から、配布資料に基づき、トランスクリプトの表記について、教務担当者会議での協議結果について説明があり、協議の結果、承認された。

3. 「臨床遺伝学」講義の保健学科への科目提供について

佐藤教授から、配布資料に基づき、医学系研究科保健学専攻長から、本研究科の開講科目「臨床遺伝学」を保健学専攻博士前期課程において来年度より開講する「認定遺伝カウンセラーコース」において、構成科目としたい旨依頼があったことの説明があり、協議の結果、承認された。

4. 「修学支援新制度」について

研究科長から、配布資料に基づき、現在文部科学省で検討が進められている高等教育の修学支援新制度の概要について説明があり、本制度導入に伴う本研究科への影響等について協議したが、特段の意見はなかった。

5. 令和2年度入学試験出願資格審査（第2回）の合否判定について

出願資格審査について、金沢校、千葉校において11月14日（木）に面接した結果、配付資料のとおり修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる旨報告があり、全員合格とした。

6. 奨学寄附金の受け入れについて

研究科長から、配布資料に基づき、奨学寄附金2件の受入れについて説明があり、協議の結果、承認された。

7. 学術相談の受入れについて

研究科長から、配布資料に基づき、学術相談1件の受入れについて説明があり、協議の結果、承認された。

8. 研究科長選挙について

研究科長から、11月22日（金）に実施した一次選挙の結果について、片山教授と佐藤教授が得票数上位2名であった旨の報告後、その結果を受けた二次選挙が行われ、投票の結果、次期研究科長候補者に佐藤教授を選出した。

なお、大阪大学総長へ候補者を推薦し、総長と面談のうえ、最終決定される旨説明があった。

以上